

平成30年第4回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	平成30年4月27日（金曜日） 午後1時41分から3時58分まで
会議開催の場所	市役所503会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・矢次健志・島村由起男・神山好子・井上三枝
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 吉野靖彦・教育部参事 島津芳久・教育総務課長 鈴木雅広・学校教育課長 野村弘人・学校教育課副参事 松崎努・生涯学習課長 駒井実・武蔵台公民館長 新井義雄
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 菊地誠治
傍聴者数	2人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・報告第2号から議案第20号・配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 報告第2号 専決処理について
原案どおり承認
- 報告第3号 専決処理について
原案どおり承認
- 議案第16号 日高市教育振興基本計画策定等委員会委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第17号 日高市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第18号 日高市就学支援委員会委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第19号 日高市社会教育委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第20号 日高市スポーツ推進委員の委嘱について
原案どおり可決

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認
- 2) 教育長報告の要旨
 - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告

した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 武蔵台地区の人口年齢層は、この数年において、どのような傾向にあるのか。

(武蔵台公民館長) 人口は横ばいであるが、高齢化率は上がっている。

(委員) 利用人数や頻度に過度にとらわれる必要はないが、高齢化率を考慮すると自ずとテーマは健康になってくると考える。その中で、夏季のウォーキングイベントについては、無理に開催する必要はないのではないかと。まして、武蔵台地区については、坂が多く、上り下りでも負担がかかってしまう。夏季は、脱水症状になりやすいので、特に注意してほしい。

(武蔵台公民館長) 参考にさせていただき、注意して進めるようにしたい。

(委員) 囲碁や将棋について、年齢的に趣味としている方が多いと思われるので、スポット的な開催ではなく、常設コーナーを設置して、無料で開放できないか。コミュニティにもつながっていくのではないかと。

(武蔵台公民館長) オープンスペースの確保など課題はあるが、前向きに検討したい。

(委員) 事業でムーミンをテーマにしたことは、良い選択と思われる。武蔵台地区から飯能のムーミン施設までの導線を考えると、非常に伸びると考えられるので、評価できる部分である。

(委員) 学級数について、小学校で3学級減っている一方で、教職員については、1名減となっている。教職員に余裕人員が生じたかと判断して良いのか。

(学校教育課長) 定数外の加配を受けたものである。県の学力向上のプロジェクトによる加配を活用しているので、例年より多くなったものである。

(委員) 学校評議員について、学校の規模と人数の関係がまちまちであるように見受けられるが、何か基準はあるのか。

(教育部参事) 人数の制限で5人以下という基準はあるが、学校の規模に対して何人までという基準は設けていない。

(委員) 過去と名簿を見比べても、あまり顔ぶれが変わっていないように感じるが。

(教育部参事) 同一校で再任は3年までと定めている。

【教育長報告：資料1 関連】

(委員) 3つのSについて、職員の仲が良ければ、困難も乗り越えられるとあるが、日高市は職員間の仲は良いのか。

(教育長) 仲は良いと感じている。

(学校教育課長) もともと他市から来たので、日高市の職員については、大変穏やかでやりやすいと感じている。

(委員) 管理職がやりやすいという場合、裏を返すと部下が我慢している状況かもしれない。一方の目線だけではなく、相互の目線でそのように感じるようお願いしたい。

(教育長) 仲良しクラブではなく、目標に向かって共有できる関係を目指すものである。

(委員) 事故防止について、どのような事故のことか。

(教育長) いじめなどの事件ではなく、交通事故が増加しているので、改めて注意を促したものである。

(委員) 西部教育事務所長の話で、学力向上へ向けてとあるが、教育委員になって、常にこの言葉を聞いている気がするが、教育事務所が何を対応しているのか疑問がある。検証する際に、まず幼保連携を含めて、家庭環境を把握することが重要である。個を大事にするのであれば、幼児期から個を追跡していないと効果はないので、徹底的に優先して実施していただきたい。

(教育長) 他市では、幼保との会議を実施していたが、日高では幼保だけの会議はある。そこに小学校は入っていない。今後、コミュニティスクールや小中一貫教育を進めていく中で、幼保連携を位置付けていきたい。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

報告第2号について

(委員) 日高市教育振興基本計画について、今回、追加となった箇所については、特にないが、「2 豊かな心と健やかな体の育成」の食育の推進において、栄養教諭による食に関する指導の授業時数について、実績値が小学校159時間で中学校が22時間となっている。時間数に差があるのはどのようなことか。

(教育部参事) 栄養教諭が、学校に訪問して栄養指導と食育指導をした全体の時間数となる。中学校は、家庭科の授業において、ある程度栄養についての内容を実施しているため少ない。

(委員) 栄養の講座と食育は厳密に言えば違う。本来、食育は6歳くらいまでにやっていないと効果がない。また、中学校については、食が乱れてくる年代でもあるので、もう少し時間数をかけても良いのではないか。

(教育長) 中学生は、家庭科や保健体育の指導において実施している部分がある。

(教育部参事) 家庭科について、かつては、調理実習や3大栄養素を教えるなどの表面的なものであったが、最近では、バランスよく食べるための献立を考えるな

どの実践的な内容に変わってきている。

(委員) 食については、乱れてくると最終的には学力にもつながってくるので、家庭への食育も含めて進めていただきたい。

報告第3号から議案第20号について 非公開のため記載せず

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○5月定例会：5月23日（水曜日）午後1時40分から 委員了承

○6月定例会：6月27日（水曜日）午後1時40分から 委員了承

(2) その他連絡事項

○平成30年度埼玉県市町村教育委員会連合会総会

5月21日（月曜日）午後【川越市】